

令和8年度 第4回 味生小学校 学校運営協議会 報告

令和8年9月30日(水) 18:30~19:45

場所: 摂津市立別府小学校 視聴覚室

本年度第4回学校運営協議会は、別府小学校の学校運営協議会と合同で実施しました。今回は、学校と保護者・地域をつなぐ連絡ツールとして、「みまもりあいアプリ」の説明を受け、実際に操作を体験しました。

1. 学校と保護者・地域の橋渡し役として

学校運営協議会には、学校運営の方針や教育活動について理解を深め、必要な支援を考えるとともに、学校と保護者・地域をつなぐ役割があります。

学校やPTA、地域の各団体が行っている活動を広く知らせ、協力したい方が参加しやすい仕組みを整えることで、子どもたちを応援する輪を広げていくことを目指します。

今回は、両校の委員がともに説明と体験に参加し、こうしたつながりを支える連絡ツールについて理解を深めました。

2. 「みまもりあいアプリ」の説明と体験

「みまもりあいアプリ」は、地域の見守りや支え合い、情報共有などに活用できるアプリです。説明では、個人情報を登録せずに参加できる仕組みや、グループごとの情報配信、アンケートなどの機能が紹介されました。

参加者は、実際にアプリを使いながら、グループへの参加や配信された情報の確認など、基本的な操作を体験しました。また、翻訳機能についても紹介があり、言葉の違いを越えて情報を届けるための活用について学びました。

3. 学校の活動への協力をつなぐ仕組みづくり

これまでの協議会では、「味生小応援隊」など、保護者や地域の皆さんが無理なく学校の活動に参加できる仕組みについて検討してきました。

アプリを通して、学習活動の補助や学校行事への協力依頼、地域の活動案内などを届けることで、「できる時に、できることを」という形で参加しやすくなることが期待されます。

学校運営協議会が橋渡し役となり、各団体の活動も知らせながら、子どもたちを支える人と活動をつないでいきたいと考えています。

4. 今後の活用に向けて

今後は、「みまもりあいアプリ」を学校と保護者・地域をつなぐ連絡ツールとして活用していく方向で、取組を進めていきます。

まずは委員を中心に使い方を確認し、情報発信の内容や運用方法を整理しながら、保護者や地域の皆さんにも参加の輪を広げていきたいと考えています。

今回の合同開催を通して得た学びを生かし、別府小学校とも情報を共有しながら、学校・家庭・地域がともに子どもたちの成長を支えるつながりを育んでまいります。